

追 悼 名 譽 会 員 中 井 勲 作 君

本会名誉会員中井勲作君は，昭和 43 年 2 月 18 日午後 10 時 5 分，東京成城の自宅で老衰のため逝去されました。ここに同君の冥福を祈り，つつしんで哀悼の意を表します。



経 歴

君は明治 12 年 1 月 3 日熊本県天草に生まれた。明治 36 年 7 月東京帝国大学法科を卒業し， 38 年 4 月農商務省に入省した。その後大正 13 年高橋是清大臣のもとで農商務次官に抜擢され，当時製鉄合同（官民全国一元化）を考えていた大臣はその役に君が最適と考え，かくして同年君は官営八幡製鉄所長官に就任した。

以来日本製鉄創立準備委員長格となり，多難な日鉄創立にあたつて終始その実行の中心となつた。周知の通り種々の難問が続出する中で君の人柄は何よりその潤滑油となり，君の温厚なひととなり，なかにひそめた硬骨に人々は常に最大の敬意を払い，信頼をおいた。

昭和 3 年勲 2 等瑞宝章を叙勲，同 9 年 2 月日本製鉄株式会社初代社長兼会長に就任以来，準戦時体制臨戦体制下のわが国鉄鋼五カ年計画などの中心に立ち活躍を続け，現在の日本鉄鋼業界隆盛の基盤を築いたといえよう。

同年 2 月本会名誉会員に推挙せられ，また同月正三位を叙勲している。昭和 12 年日本製鉄会長を辞任し，13年には東洋鋼鈑(株)取締役会長，14年には日鉄鉱業(株)取締役に就任した。14年 6 月には日本製鉄(株)社長を辞任，18年には日本ピッチコークス社長に就任，19年には同社社長の職を退いた。